

第65回全日本カッター競技大会代替 通信制記録大会 実施要項

1 目 的

- (1) 水産・海洋教育並びに海事訓練機関の伝統競技であるカッター競技を通じて、シーマンシップ育成及び漕艇技術の向上を図り、併せて参加校相互の親睦を深めるとともに、カッター競技の素晴らしさを広く一般にアピールする。
- (2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、当初予定されていた全日本カッター競技大会は中止となったが、通信制記録会（リモートレース含む）を実施することにより各校の練習成果を内外に示すだけでなく日々の学生生活の意欲喚起に繋げるとともに選手間の交流を深める。

2 計測期間 令和2年12月1日（火）～令和3年8月31日（火）
（提出期限は9/5）

3 会 場 参加各校特設コース（1000m折り返し2000mコース）

4 主 催 全日本カッター連盟

6 主 管 校 東京海洋大学

7 日 程（リモートレース）令和3年8月28日（土）

*

※雨天により計測不可能な場合は8月29日（日）

各日 10:00～ リモート接続確認

11:00 一般の部 タイム計測（1回目）

11:30 女子の部 タイム計測（1回目）

14:00～ リモート接続確認

15:00 一般の部 タイム計測（2回目）

15:30 女子の部 タイム計測（2回目）

16:00～ 結果発表

8 参 加 校 大会の主旨を理解し、記録を提出又はリモートレースに参加できる学校

9 計測方法 (1) 各校で往復2000m（1000m折り返し）のコース設定する。コース設定方法については、GPS 或いはレーダー等を用いて競走距離を計測する。

※各参加校は、シーマンシップに則り、競漕距離を適正に計測できるよう最大限努力すること。

(2) 計測記録のうち最速のタイムを今シーズンの記録とする。

(3) 各海域での海況（風向、風力、波高、潮流等）や艇仕様等が異なるため、当日の天候及び艇仕様を詳細に記録するとともに可能であればレースの様子

を動画に撮影し、主管校へ報告する。

(4) 計測記録の報告に当たり、不正及び不正が疑われる事象や虚偽の報告が発覚した場合は、主管校で協議の上、記録を取り消すことがある。

- 10 使用艇 参加各校が使用する艇とする。可能な限り、艇仕様（年式、メーカー、重量、ローロック幅等）について事前に把握しておく。
- 11 提出方法 各校で計測した記録を別紙作成の報告シートに入力し、メールにて報告する。
- 12 提出締切 計測記録の提出締切日は8月31日までとし、メールにて主管校に提出する。
E-mail : r192008@edu.kaiyodai.ac.jp
担当 品川水産端艇部主将 塩田惇
主務 一毛翼
- 13 その他 (1) 参加希望校のうち、クルーの引退により練習状況が整わず最新の計測ができない場合は、全日本カッター競技大会に向けてクルーを結成した昨年12月以降からの計測タイムまで遡り、記録提出をしてもよい。
(2) 計測期間内であれば各校何度計測してもよく、最も良いタイムを記録として報告する。
(3) リモートレースに参加できない場合でも、日常の練習内で計測したタイム等を提出することで記録会の参加は可能とする。
(4) 本記録会の計測結果は、全日本カッター連盟のホームページに掲載し、各校での相互交流に役立てるものとする。